

# 宇和島市地域自立支援協議会のイメージ

**宇和島市地域自立支援協議会(全体会)**  
(問題意識の共有化、情報の共有化・部会からの様々な問題の協議検討・情報発信・協議会学習の場、施策の提言)

●●部会  
(必要に応じ追加する)

居住福祉部会  
(必要に応じ随時開催)

療育・児童部会  
(必要に応じ随時開催)

生活支援部会  
(必要に応じ随時開催)

災害対応部会  
(必要に応じ随時開催)

課題振分・提案集約

**運営会議**(全体会の運営スケジュールや専門部会立ち上げ等の決定)

報告提案

**相談支援調整会議**

情報(課題・問題を積み上げ)

個別支援会議  
(ケース会議)

個別支援会議  
(ケース会議)

個別支援会議  
(ケース会議)

障害者団体等の  
市民のニーズ

事務局

総合的な問題について(全体会に報告)

平成28・29年度 活動報告

会議名	28年度	29年度	
	主な内容		
全体会	開催なし	開催数：1回(H30年3月19日) ●これまでの活動（各部会）報告について ●障害者虐待防止対策支援事業の実施報告 ●ヘルプマークについて ●宇和島市障害者タクシー料金給付事業について ●平成30年度活動方針（案）について	
相談運営支援調整及び会議	開催数：6回（奇数月第3水曜日） ●計画相談支援の現状について ●各部会活動の報告 ●障害福祉サービス利用についての意見交換	開催数：11回（毎月第3水曜日） 【偶数月第3水曜日】 ●事例検討 【奇数月第3水曜日】 ●計画相談支援の現状について ●障害福祉サービス利用における課題等 ●相談支援専門員の現状について	
専門部会	生活支援部会	●就労継続支援B型の利用に係るアセスメントの実施に向けた協議について	●就労継続支援B型の利用に係るアセスメントの実施に向けた協議について
	療育児童部会	●発達支援講演会の後援（こころ根っこ・ゆうきの会共催）3/7開催	●発達支援講演会の後援 2/25開催（南愛媛療育センター主催 こころ根っこ・ゆうきの会共催） ●宇和島市リレーファイルの作成
	居住福祉部会	●訪問等で情報収集、個別に対応。	●随時、訪問等で当事者からの声を聞き取り、課題の積み上げを行う。
	災害対応部会	●情報収集を行い、当事者の声を聞き個別に対応。	●随時、訪問等で当事者からの声を聞き、自助の啓発、関係機関と連携を行う。 ●防災セミナー・研修会への参加
研修等	【10/7実施】 ・地域自立支援協議会の目的と役割、機能等、各専門部会の役割、具体的取組について、地域診断（社会資源、個人等）を行い、地域課題の解決方法を検討すること、「誰もが住みやすいまちづくり」を目指し、1人の利用者を思い、語る、伝えて行くことが大切。また、定期的に部会で集まり他の人たちの意見、経験を情報共有し、課題の解消につなげる。部会の見直しも検討する。	【10/27実施】 ・南予相談支援専門員連絡会において、グループスーパービジョンの実践を通して、支援の方策や糸口を見いだせるよう活用方法を学ぶ。また、ケースを通して、宇和島市にない社会資源等に気づき、資源の創出や自立支援協議会への提案などにつなげていくことを学ぶ。	

生活支援部会 活動報告

年度	28年度			29年度
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談支援と並行し、福祉サービスのマッチングを図る。</li> <li>・また困難事例に対しては、チームアプローチの実践を心がけ、情報を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援B型利用における、就労アセスメントが円滑に実施できるよう、関係機関との連携を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険へ移行される方への十分な説明と、ケアマネージャーとの連携方法に関する協議を継続し、必要に応じて事例検討の場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労アセスメントの円滑な実施に向け、教育と福祉の連携を推進する。</li> </ul>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個票を提出し、関係機関での情報共有を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回(7/20) 「就労アセスメントの検証・課題抽出」</li> <li>・第2回(10/17) 「実施状況の確認」</li> <li>・宇和特別支援学校「就労学習会」へ参加(11/7)</li> <li>・第3回(12/19) 「来年度の活動方針について」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成功事例や困難事例に関する情報を共有し、意見を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回(7/12) 「就労アセスメントの実施について」</li> <li>・第2回(9/4) 「実施状況の確認」</li> <li>・宇和特別支援学校「就労学習会」へ参加(11/7)</li> <li>・第3回(12/18) 「実習によるアセスメントの取扱いについて」</li> <li>・第4回(1/29) 「来年度の活動方針について」</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個票提出による事例検討を基本方針として定めたが、権利擁護や虐待防止、差別解消等、生活に関連する事案が多岐にわたり、1部会での対応が難しい現状にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇和島圏域(宇和島市・鬼北町)の就労移行支援事業所・宇和特別支援学校(進路担当者)・相談支援事業所が定期的に情報交換を行い、課題を確認することで、より円滑にサービスを提供することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例の収集を図ったが、就労支援に特化したことで、具体的な検討を行うまでには至らなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労アセスメントに課題を集約し、議論を重ねることで、関係機関と行政が一体となり、多角的に支援を進めることができた。</li> <li>・就労支援の重要性を再確認する機会となり、新たな部会の創設に向けた議論を加速することができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービスの適切な利用と選択肢の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険への円滑な移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援の範囲が広い</li> <li>・就労支援部会の新設</li> </ul>

療育児童部会 活動報告

年度	28年度		29年度	
活動方針	<p>①発達障がいの理解促進のため、啓蒙・啓発活動に取り組む。 ②発達障がい児者の利用できる福祉サービスの現状把握に努める。</p>	<p>③障害の重い子どもの利用できる福祉サービスの現状把握と関係機関連携に取り組む。</p>	<p>①支援機関及び相談窓口の見える化（一表・図などマップ作成）に向けた資料作成等の作業を行う。</p>	<p>②関係機関の連携のあり方を考える。</p>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回（9／21） 「療育児童部会の目的等」</li> <li>・ 第2回（3／7） 「課題の整理」</li> <li>・ 2／5「発達支援講演会」 （こころ根っと・ゆうきの会主催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の重い子どもたちが利用できるサービス事業所を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回（7／5） 「障害者とその家族への支援体制の整備について」</li> <li>・ 部会コアメンバー会議（7／19） 「発達障がい児・者の支援体制整備について」</li> <li>・ 第2回（10／6） 「リレーファイルの作成について」</li> <li>・ 第3回（2／7） 「宇和島市リレーファイル（案）について」</li> <li>・ 第4回（2／27） 「宇和島市リレーファイル（案）の活用について」</li> <li>・ 第5回（3／12） 「宇和島市リレーファイル（案）の運用について」</li> <li>・ 2/25「発達支援講演会&amp;シンポジウム」 （旭川荘 南愛媛療育センター主催、こころ根っと・ゆうきの会共催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度は主に宇和島市リレーファイル作成に向けた部会会議と作業部会を実施</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達障がいの啓蒙・啓発活動として「こころ根っと・ゆうきの会」の研修会に後援という形で関わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス事業所の把握に留まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部会や発達支援講演会を通じて、市におけるライフステージに沿った発達支援体制の現状・課題と今後の取り組みについて共有することができた。</li> <li>・ 宇和島リレーファイル（仮称）の作成を通じて、機関連携ができた。（部会と作業部会を実施）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部会及び作業部会等で関係機関の連携ができ始めた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続的な啓蒙・啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続取り組みと機関連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リレーファイルの完成と運用に関しての継続的な取り組み（ライフステージに応じた切れ目のない支援）</li> <li>・ 発達支援体制整備に関する検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に障がいの重い子どもへの支援体制の取り組み（医療的ケア児の地域支援に係る協議の場など）</li> </ul>

居住福祉部会 活動報告

年度	28年度			29年度
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会にて啓発活動、PR活動の取り組み方針を策定する。</li> <li>・障害者差別解消法の啓発。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居後のトラブルの対応について、部会にて宅建業者の方の意見聴取を行い、対応策を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHが増とならない理由を情報収集し、対応策を検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住に対する当事者や関係機関の訴え、課題等を個票で積み重ねていく。</li> </ul>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問等で、個別の対応を中心に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会としての活動はできていないが、個々の対応として精神障がい者の方へのサポートを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、個別に情報収集しながら共有を行うことに留まり、十分な検討ができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、相談支援専門員が訪問や面接等で聞き取りを行い、要望を聞く。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所へパンフレット等の掲示、配布を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の対応ではあるが、サポートを行うことで、当事者と家主の方の安心感につながり、入居継続ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置したいという声はあったが、実現してない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集を行った中で、居住の場としてグループホームが必要とする障がい者の声があった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者差別解消法等の周知不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住サポートの継続</li> <li>・居住サポートのマンパワー不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握が十分にできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の居住の場が不足している。</li> </ul>

災害対応部会 活動報告

年度	28年度			29年度
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策について、障害特性に応じた方法で周知を図り、障害者の防災意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理課等関係機関と連携を密にし、防災情報等の共有を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害特性に応じた災害時の防災マニュアルづくりを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に対する当事者や関係機関の訴え、課題等を個票で積み重ねていく。</li> </ul>
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、情報収集を行い、当事者の声を聞き、個別に対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の対応に留まり、十分な対応ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の対応に留まり、検討は行えなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、訪問や面接等で当事者の方の声を聞く。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安を訴える当事者の声がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の対応は随時行ったが、危機管理課等からの情報の共有を図ることが充分にできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所ごとに防災計画を作成し、実際に訓練をしたりしている現状があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の対応に留まり、部会での検討は行えなかった。</li> <li>・部会委員が研修会への参加を行い、他地域での障害者の防災に関する情報、当事者、家族等の話を聞いた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して支援が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理課等との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害特性に応じた支援体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者それぞれの自助の啓発</li> <li>・障害特性に応じた支援体制の整備</li> </ul>